

第七十五回帝國議會 金華山軌道株式會社及朝倉軌道株式會社所屬軌道ノ委員會議錄(速記)第六回
衆議院 經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案

付託議案
金華山軌道株式會社及朝倉軌道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第七九號)
自動車交通事業法中改正法律案(政府提出)(第八四號)

會議

昭和十五年三月十一日(月曜日)午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 名川 侃市君

理事山田 清君

理事田中 好君

村松 久義君

小平 重吉君

伊東 岩男君

出席國務大臣左ノ如シ

鐵道大臣 松野 鶴平君

出席政府委員左ノ如シ

鐵道參與官 太島 寅吉君

鐵道省監督局長 鈴木 清秀君

鐵道省建設局長 堀越 清六君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

金華山軌道株式會社及朝倉軌道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
自動車交通事業法中改正法律案(政府提出)

○山田委員長代理 是ヨリ委員會ヲ開キマス、直チニ質問ニ入リマス——田中好君

○田中委員 大臣が居ラレナイサウデアリマス、金華山ノ方ヲ先ニ御尋ヲ致シマス、金華山軌道ノ買収が出テ居リマスガ、是ハ地方鐵道法ノ規定ニ依リマシテ、算定方法が規定サレテ居リマス、此ノ中デ私御

尋シタイノハ、一體幾ラノ金額デ補償セララルノデアルカト云フコトガ、此ノ説明書デハ分リ兼ねルノデアリマス、殊ニ法定額ノ中デ殘餘物件ノ買収價額ガ、補償金額ノ決定ニ非常ニ影響スルモノト思ヒマスガ、ドウ云フヤウナ方法ニ依ツテ殘餘物件ヲ計算セラレノデアルカト云フ、詳細ナル御答ヲ願ヒタイト思フデアリマス、固ヨリ地方鐵道法ノ第三十一條第一項第一號ニ依ツテ算出セラレマシタ益金還元額、ソレカラ省線ノ改良費ニ於ケル所ノ建設費、之ヲ合計ヲ二デ割ツテサウシテ一應價格ガ出ルノデアリマス、其ノ切半額ノ中カラ殘餘財産ヲ引カナケレバナラス、此ノ殘餘財産ノ價格ト云フモノハ建設當時ニ比シマシテ、非常ニ高價ニナツテ居ルヤウニ私共ハ思フノデゴザイマス、地方ノ鐵道ガ收支相償ハヌト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、寧ロ營業ヲ廢止シテシマツテ、「レール」其ノ他ノ物件ヲ賣却スル方ガ利益デアルト云フヤウナモノガ各所ニアルノデゴザイマシテ、此ノ金華山ニ致シマシテモ、朝倉軌道ニ致シマシテモ、從來カラ使ツテ居リマシタ軌道ト云フモノハ非常ニ價格ガ高イデアラウト思ハレル、法定ノ方法ニ依リマスル此ノ利益還元ノ率ノ價格ト、ソレカラ建設費ノ價格、此ノ二ツヲ合セテ、切半シテ、控除セラルベキ所ノ殘餘財産ノ物件ヲドウ云フ風ニ算定セラレテ、ソレガドウ云フ風ナ價格ニナツテ

居ルカ、隨テ補償金額ハ何ボデアルカト云フコトヲ兩軌道ニ付テ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○鈴木政府委員 補償金額ノコトニ付テ御尋ガアリマシタ、御尤モナ御質問ダト思ヒマスガ、所謂益金還元額ト建設費トヲ合セテ切半シタ所ノ金ハ、金華山ニ於キマシテハ三十七万二千圓、朝倉軌道ニ於テハ三十六万六千圓デゴザイマス、ソレカラ殘存物件ト補修費トヲ減ラスノデアリマスガ、先ヅ補修費ハ金華山ニ於キマシテ四千四百圓デアリ、朝倉軌道ニ於テ五千四百圓デアリマス、此ノ中デ重要ナノハ殘存物件ノ評價デアリマスガ、是ハ御尋ノ通り、時節柄非常ニ評價ノ問題ガアルノデアリマスガ、是ハ大體廢止ノ日ニ於キマスル其ノ適當ノ價格ヲソレノ評價スルノデゴザイマス、サウシテ其ノ評價ヲ分ケマスルト、或ハ線路用品、物品、用地、橋梁、溝渠、軌道、停車場設備費、諸建物、車輛、通信線路、備品、サウ云フヤウナモノヲ一々細マノト當リマシテ、サウシル廢止ノ日ニ於キマスル適正價格ヲ求メマシテ評價致スノデアリマス、只今申サレタヤウニ「レール」其ノ他ハ非常ニ評價シニクイ、ソレデアリマスルカラ大體ニ於テ兩社トモ賣却ヲシテ居リマスノデ、大體賣却致シマシタ所ノ代價ガ其ノ廢止ノ日ニ於キマスル適正ナル價格デアルト吾々ハ認定致シマシテ、ソレニ依ラウト

思ヒマス價格ヲ申上ゲタイノデアリマスガ、買収契約書其ノ他ヲ持ツテ居リマスガ、マダ調ベテ見タイコトモアリマスノデ、ハツキリ申上兼ネマスガ、大體ニ於テ殘存物件其ノ物ガ金華山ニ於テ二十四萬圓、朝倉ニ於テ十九萬圓位ト、斯ウ大體御存置キヲ願ヒタイト思ヒマス、只今申上ゲマシタ數字ハ、詳細ニ調べマスト或ハ多少ノ違ヒガ生ズルカモ知レマセヌト云フコトヲ、一應御斷リヲ申上ゲテ置キマス

○田中委員 補償金額ハドウデスカ

○鈴木政府委員 サウ致シマス、大體ニ於テ金華山軌道ニ於テ十二萬圓バカリ、朝倉ニ於テ十七萬圓バカリデアリマス、是ハ所謂公債デ交付致シマスカラ、公債ヲ三分五厘ノ時價デ換算致シマシテ公債ヲ出スノデアリマス

○田中委員 大臣が見エマシタカラ軌道ノ方ハ此ノ位ニシテ置キマシテ、交通事業法ノ方ニ移リタイト思ヒマス、今回ノ自動車交通事業法ノ改正案ガ目標トセラレテ居リマス所ハ、自動車ノ運送事業ノ統制デアラウト思フノデアリマス、ソレハ本改正案ノ内容ヲ見テミマス、自動車業者ノ自治的統制ヲ獎勵セラレ、或ハ業者ノ商業組合的ノ組合制度ヲ強制設置スルヤウナ方針ヲ御執リナリ、或ハ其ノ組合ニ強制加入ノ方法等ヲ御執リナツテ居ル點カラ見マス、ドウ致シマシテモ自動車運送事業ノ統制ニ

重キヲ置イテ居ラレルモノト、私共ハ認メ
ルノデゴザイマス、左様ナコトヲ目標ト致サ
レマシタ其ノ立法ノ精神ニ付テ、私共ハ贊
成ノ意ヲ表スル者デゴザイマスガ、果シテ
斯様ナコトデ巧ク行カドウカ、是以上ノ
コトヲモツトオヤリニナラナケレバナラヌ
コトガアルノデハナカラウカト云フコトヲ、
考ヘルノデゴザイマス、今日ノ交通界ノ實
情カラ見デミマス、陸上交通或ハ水上交
通、或ハ空中ノ交通ト云フモノガ各、獨立致
シテ居リマシテ統制ガナシ、此ノ根本的ノ
方針ヲ御立テニナラズシテ、唯自動車交通
事業ノミニ關シテオヤリニナツテモ、完全
ナル目的ヲ達スルコトハ出來ナイト、私共
ハ思フノデゴザイマス、申マデモナク是等
陸上、水上、空中ノ交通作用ト云モノハ
各、機關ガ相連絡シマシテ初メテ交通上ノ
效果ヲ出シ得ル、所謂交通政策ノ目的ニ合
致スルヤウニ相成ルノデゴザイマスルケレ
ドモ、現在ノヤウナ方法ニ於キマシテハ到
底交通政策ノ要求スル所ニ合致シサウモア
リマセヌ、又之ヲ陸上、水上、空中此ノ三
ツノ交通機關相互ノ間ノミナラズ、陸上ハ
陸上、水上ハ水上、空中ハ空中、此ノ各、ノ
間ニ於キマシテモ交通行政ナルモノハ統制
サレテ居ナイ、隨ヒマシテ交通ノ不便ヲ來
シ、或ハ交通費ガ嵩シテ居ルト云フヤウナ
状態ナノデゴザイマス、私ハ此ノ間鐵道省
ガ御出シニナリマシタ統計表ヲ拜見致シマ
スルト、十四年度ニ於ケル全國ノ交通費ハ
十七億圓ニ上ツテ居ルト云フコトヲ承ツテ
居ルノデゴザイマスガ、是等ノ交通行政ノ
統制ニ依リマシテ無駄ナ費用ガ省略セラレ、
重複シタ所ノ資金ガ省カレルト云フコトガ、
明カデゴザイマスルカラ、十七億圓ノ一割

ダケヲ輕減スルコトガ出來得マシテモ是ハ
非常ニ國家ノ爲ニ得策アルノデゴザイマ
ス、然ルニ斯様ニ安クシテ而モ利益アルニ
モ拘ラズ、其ノコトガ出來得ナイ、交通政
策ノ目的トシテ居ル事柄ガ出來得ナイト云
フコトハ、要スル所交通行政ヲ各省ガ握ツテ
居ル、各省ガ各、管理ヲシテ居リマシテ、
所謂各省割據ノ弊害ノ爲ニ是ガ出來得ナイ
ト云フノガ現時ノ狀態デゴザイマス、ドウ
云フヤウニ各省ガ割據シテ居ルカト申シマ
スルト、是ハ私ガ申スマデモナク大臣特ニ
御存ジダラウト思ヒマスルガ、實際ノコ
トヲ一ツ申述ベタイ、ソレハ唯陸上交通ニ
付テ見デミマシテモ、鐵道ト自動車ハ鐵道省
ガ御管理ニナツテ居ル、又道路、河川、港
灣ト云フモノハ内務省ガ之ヲ管理シテ居ル、
空中交通ニ致シマシテモ遞信省ガ之ヲ管理
シテ居ル、水上交通ニ於キマシテハ船舶ハ
遞信省、港灣ハ色々ニ分レマシテ物的設備
ハ内務省ガ管轄致シテ居リ、航路標識ハ遞
信省ガ持ツテ居リ、税關ニ關シマシテハ大
藏省ガ權限ヲ持ツテ居ル、棧橋ニ關シマシ
テハ、税關用ノ棧橋ハ大藏省、鐵道用ノ棧
橋ハ鐵道省、一般ノ交通用ニ供スル棧橋ハ
内務省ト云フヤウニ其ノ棧橋ハ三ツニ分レ
テ居リマス、臨港鐵道ハ鐵道省ガ之ヲ管轄
シテ居ル、斯ウ云フヤウナ有様デ各、ノ官
省ガ各、思フ儘ニ交通機關ヲ管理致シテ居
リマスルカラ、交通行政ノ統制ヲ期スルコ
トガ出來得ナイノデゴザイマス、空中ノ交
通ニ付テ見マシテモ、飛行場ト道路トガ何
等關係ナク施設セラレテ居ル、早イ話ガ大
臣モ御承知デセウガ、福岡ノ飛行場ハアリマ
スルケレドモ、之ニ連絡スル所ノ完全ナル鐵
道、或ハ完全ナル道路施設ナルモノハゴザ

イマセヌ、隨ヒマシテ吾々ガ福岡ノ飛行場
ニ著イテ下關カラ汽車ニ乗ラウト思ツテ參
リマス、其ノ間ニ飛行機ハ東京ニ著イテ
居ルト云フヤウナ事柄デ此ノ飛行場ト後方
地帯トノ交通機關ガ完全デナイ、又此ノ頃
ハ遞信省、陸軍省等ガ各所ニ飛行場ヲ計畫
シテ居リマスレドモ、是モ唯飛行場ノ爲
ニ得策ナ土地ヲ選ブト云フダケデアツテ、ソ
レト連絡スベキ所ノ交通機關ニ付テ何等ノ
考慮ガ拂ハレテ居ナイ、斯ウ云フノガ現狀ナ
デゴザイマス、又港灣ニ致シマシテモ、最
近九州ノ新田港ヲ築港スルサウデゴザイマ
スガ、是等デモ築港其ノモノニ付テハ結構
ナ計畫アルニ相違ゴザイマセヌガ、後方
地帯トノ何等連絡ヲ持ツテ居ナイ、斯様ナ
所ニボツント港灣ヲ置キマシタ所ガ何等ノ
效果ガナイ、又此ノ頃喧シク申シテ居リマ
スル石炭ノ問題ニ致シマシテモ、石炭ハ築
港マデハ出スノダ、愈、築港マデ行ツテ棧
橋ガ間ニ合ハナイ、ソレダカラ石炭ヲ已ム
ヲ得ズ置イテオクカ、或ハ沖ヘ荷役ヲヤラ
ナケレバナラヌト云フヤウナ状態ニナツテ
居リマス、石炭問題ノ場合ニ於キマシテモ
何トカシテ此ノ交通機關ヲ整備シナケレバ
ナラヌト云フコトヲ喧シク言ヒマスガ、是
ハ中々一朝一夕ニ出來ルモノデハゴザイマ
セヌ、數年ヲ要スル、隨ヒマシテ這般ノ
石炭問題ヲ解決スルコトガ非常ニ不十分デ
アル、斯ウ云フヤウナ有様ヲ呈シテ居ルノ
デゴザイマス、最モ笑フベキ事柄ハ港灣ニ
於キマシテ船舶ト港灣ノ水深トガ一致シナ
イト云フヤウナ場合モ起ツテ居ルシ、又船
舶ト鐵道トノ輸送能力ガ相一致シナイト云
フヤウナ各種ノ奇妙ナル現象ヲ現ハシテ居
ルノデゴザイマス、斯様ナ狀態、斯様ナ方

策ヲ以チマシテハ、ドウ致シマシテモ此ノ日
滿支ヲ一體トスル大陸政策ヲ遂行スルコト
ガ出來得ナイ、斯様ニ私ハ考ヘルノデゴザ
イマス、前鐵道大臣ニ其ノ事ヲ申上ゲタ所、
支那ノコトハ外國ノコトダカラ仕方ガナイ
ノダト云フヤウナ實ニ薄情ナ御答辯ガアリ
マシタガ、恐ラク今ノ大臣ハ左様ノコトヲ
言ハレマイト私共ハ確信スルノデゴザイマス
ルカラ、日滿支三國ノ經濟關係ヲ圓滑ニシ
マシテ、支那ニアル所ノモノハコウツチヘ持
ツテ來ル、日本ノ製品ハ向フヘ送ツテヤル
ト云フヤウナ「ブロック」經濟ヲヤルヤウナ
場合ニ於キマシテハ、何ヲ措イテモ交通機關
ノ整備ガ急務デアルト思フノデゴザイマス、
勿論支那ノ交通機關ハ不備デアリマス、不
備デアリマスルガ、是ハ外ノ國ノコトデア
ルカラ吾々ハ知ラナイノダト云フヤウナコ
トデ放任スベキモノデハナイ、日本ガ之ヲ
指導シマシテ完全ナル交通機關ヲ計畫シ
テヤル、ソレト同時ニ日本内地ノ交通機
關——今申シマシタヤウナ不備ノ交通機關ヲ
統制セナケレバナラヌ、私ハ斯様ナ見地カ
ラ熟考ヘテ見マスルト、ドウシテモ今ノ儘
デ放ツテ置ク譯ニハ行カナイ、是ガ爲ニハ
ドウ致シマシテモ交通省ヲ設ケナケレバナ
ラス、是ハ私ノ年來ノ主張デス、何トカシ
テ交通省ヲ設ケテ是等ノ不備缺陷ヲ補充シ
ナケレバ日本ノ産業ハ進展スルコトガ出來
ナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、此
ノ實情ヲ能ク諒解セラレマシタ内閣ニ於キ
マシテハ、内閣デ交通會議マデモセラレテ、
交通行政ノ不統一ヲ矯正シヨウト云フヤウ
ナ政策ヲ執ラレタ内閣モアツタノデゴザイマ
スルガ、其ノ後ノ内閣ハ何等ソレニ對シテ
考慮セラレテ居ナイ、議會アル毎ニ私共

ハ鐵道大臣ニ其ノ事ヲ申上ガタノデゴザイ
マスルケレドモ、考慮スル、洵ニ其ノ趣旨
ハ結構デアリガ、考慮スルノダト云フ考慮
ノ答辯ノミデアリマシテ、其ノ實ハ議會ガ
濟ムト直ニ放ツテ置カレテ居ルト云フノ
ガ交通行政ノ現狀デゴザイマス、恐ラク現
鐵道大臣ハ、左様ナ考慮スルト云フヤウナ
常套語ハ用ヒラレズ、或ハ又近ク行政機構
ノ改革ヲ行フ積リデアルカラ、其ノ時ニヤ
ルノデアルト云フヤウナコトモ言ハレナイ
デアラウト私共ハ確信致シマスルガ、之ニ
關シテ鐵道大臣ハドウ云フヤウナ御考ヲ御
持チデアラウガト云フコトヲ御伺シタイノ
デアリマス

○松野國務大臣 田中君ノ御質問ニ對シテ
御答致シマス、現在運輸交通ノ事業、殊ニ
陸上自動車運輸ノ如キハ、田中君ノ御意見
ノ通りニ、此ノ法案ヲ提出シマスニ付テモ、
司法トカ大藏トカハ、補助スル爲ニ大藏
大臣ノ必要ガアリ、罰則ニ司法省ノ關係ガ
アル、運輸事業ニ關シテモ三省ノ關係ガア
ルト云フ複雑ナコトデアリマス、鐵道、内務、
商工——商工省ニ於ケル商業組合ハ商工省
ノ理解アル御協力ニ依リマシテ、今回御承知
ノ通り此ノ法案ニ對シテ鐵道省ノ監督ニ統
一スルコトガ出來タ、内務省ノ方ハ、田中
君ハ殊ニ内務ノ土木行政ノ權威者デアリマ
スルカラ、是ハ私カラ申スマデモナク、ヤ
ハリ自動車ハ主トシテ内務省ノ道路ノ上ヲ
走ル譯デアリマスカラ、内務省ト自動車運
送事業ニ對シマシテハ極メテ密接ナ關係ガ
アル、隨テ鐵道省ノミデ事ヲ決メルコトノ
出來ナイ關係上、色々意味ニ於テヤハリ
諸種ノ監督上ノ問題トカ、認可、許可ノ問
題ニ對シマシテモ、業者モ不便ヲ感ゼラレ

ルコトモアルダラウト思ヒマス、ソレカラ
監督上モ極メテ圓滿ナル連絡ハ執ツテ居リ
マスケレドモ、ヤハリ一省デ監督スルト云
フヤウナ譯ニハ行カナイ、斯ウ云フコトハ
ヤハリ田中君ノ御意見ノ通りデ、大キナ意
味ニ於ケル國策トシテノ運輸事業ヲ統一シ
ナケレバ、種々ノ點ニ於テ、此ノ限リナク
膨脹シテ來ル運送ヲ圓滑ニヤルコトハ出來
スデハナイカト云フ御意見デアリマスガ、
此ノ點ニ對シマシテモ、私モヤハリ田中君
ノ御意見ト同感デアリマス、但シ御承知ノ
通りニ、國力が非常ニ伸展ヲシテ、ヤハリ
吾々ノ設備ノ方ガ自然ニ遅レ勝チニナツタ
今日ニ於キマシテハ、ドウシテモ現在其ノ
儘ニ置キマシテ、各種ノ點ニ於テ連絡ガ完
全デナカツタカラ其ノ行詰リヲ生ジタノカ
ト申シマス、必ズシモ運用ノ上ニ於テハ
サウバカリトハ言ヘナイ點モアルノデアリ
マス、非常ニ急激ニ發展ヲシタ爲ニ、ソコ
ニ設備ノ方ガ手遅レニナツタ點モアル、併
シナガラ其ノ將來ヲトシテ、限リナキ國力
ノ伸展ニ伴フテ、此ノ交通運輸ノ業ヲ完全
ニスルニ付テハ、田中君ノ御意見ノ如ク一
大決必ノ下ニ、出來ル限リノ統一ノ下ニ遺
憾ナキ計畫ヲヤラナケレバナラヌト云フコ
トハ、私モ同様ニ感ジテ居ル點デアリマス、
然ラバ行政機構ノ改革ヲヤラナケレバいか
スデハナイカ、斯ウ云フコトニナリマスガ、
行政機構ノ改革ハヤラナケレバいかヌ、斯
ウ云フ大體論ニハ共鳴シマスケレドモ、之
ヲヤル場合ニ於テドノ程度ニヤレバ是ガ完
全カト云フ點ニ於キマシテハ中々ハ困難
ナ問題デ、内務省ノ道路ノ問題モ、交通省ヲ
作ツタト假定シタ場合、之ヲ交通省ニ入レ
ルカ、斯ウ云フ場合ニ於キマシテ、全然今

日ノ鐵道省ト經濟ノ變ツタ交通省ニナレ
バ、自ラ方法モアルデアリマセウケレドモ、
鐵道省ハ特別會計、内務省ノ道路ハ、ヤハ
リ運輸事業ヲヤルト云フ意味ニ於テ、之ヲ
營業方面ニ使フコトヲ目的トシテ計畫スル
譯ニハ行カヌ、斯ウ云フ點モアリマスカラ、
行政機構ノ改革ヲシテ、サウシテ交通ノ統
一ヲ圖ルト云フ此ノ政治的ノ所謂經綸ニ對
シマシテハ、私モヤハリ田中君ノ御意見ト同
様ニ考ヘマスガ、或ハ沿革モアリ、一朝ニ
シテ直チニ實現スルコトハ中々難カシイ、然
ラバ今日ノ鐵道トシテハ如何ナルコトヲ考
ヘルカト申シマス、現在ニ於テヤリ得ル
程度ノコトヲヤツテモ、田中君ノ言ハレル
不満足ナ點ヲ十分ニ補ヒ得ルコトモアル、
内務省ノ港灣、ソレカラ遞信省ノ船舶、斯
ウ云フモノニ對シマシテ各、所管ハ違フケレ
ドモ、田中君ノ指摘セラレル如キ缺陷ニ對
シマシテ、所謂恆久ノ對策ト、應急ノモノ
ト之ヲ區分シマシテ、本當ニ國力ノ伸展ス
ル方面ニ對スル現狀及ビ將來ヲ考ヘテヤリ
マスナラバ、必ズシモ人間ノ力ニ於テ機構
改革ヲシナケレバ完全ニ行カナイモノデモ
ナイ、機構改革、是モ政治的ニ見テ必要ダ
ガ、是ハ自ラ時期ヲ見ナケレバナラヌ、ソ
レヲヤラナクテモ、現在ニ於テ港灣、土木
ノ内務省デアルトカ、或ハ船舶、空輸ノ遞
信省ノ所管、斯ウ云フコトハ各、假ニ其ノ所
管ヲ現在ノ儘トシテモ、お互ノ關係方面ニ
對スル眞ノ理解ノ下ニ、將來ニ備ヘルダケ
ノ對策ヲヤラナケレバナラヌ、是ハ政治家
ノ所謂決心ニ依ツテ、現在ノ機構ノ儘デモ
十分ニヤレルコトハ私ハ澤山アルト考ヘテ
居リマス、其ノ點ニ對シマシテハ、皆サンノ
御協力ノ下ニ、吾々ハ責任者トシテ出來ル限

リノ對案ヲ作ツテ、サウシテ運輸、輸送ニ對
スル完全ナ働キヲシテ見タイト思ヒマス
日滿支ノ「ブロック」經濟、是ハ田中君ノ
言ハレル通り滿洲、支那ハ他國ダカラ如何
トモ仕方ガナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテハイ
カヌ、田中君ノ指摘セラレル通りニ、日滿
支ノ「ブロック」ハ、所謂眞ノ東亞新秩序建
設ノ目的ハ茲ニアルト私ハ思フ、日滿支ノ
經濟「ブロック」ガ茲ニ本當ニ確立シテ來ルナ
ラバ、ソレガ眞ノ東亞新秩序建設ノ土臺
ニナルモノダ、其ノ點カラ言ヒマス、
ヤハリ一體トナラナケレバナラヌ、滿洲ハ
滿洲、支那ハ支那ニ對シテ十分ノ協力ヲ
求メ、お互ニ相助ケテ行ク、現在ノ支那ニ
於ケル石炭ノ如キ問題ニ對シマシテモ、
輸送ガ完全ニ行キマスナラバ、内地ノ石炭
ノ現狀ヲ打開スルコトハ極メテ易々タルモ
ノデアリマス、ソレニ對シマシテハ、色々
ナ物資ノ關係モアリマスカラ、是ハ努力ニ
依ラナケレバナラヌガ、ソナナ意味ニ於キ
マシテ、日滿支ノ經濟「ブロック」ト云フモ
ノハ、私ハ日本カラ言フト、三國間何レモ
同様ニ非常ニ必要ナコトト思ヒマス、是ハ
お互現在ノ儘ニシマシテモ、協力ニ依リマ
シテ各種ノ設備ヲヤル、斯ウ云フコトニシ
マシテ、圓滑ナ經濟上ノ發展ヲ爲スコトハ
極メテ緊要ナコトデアリマスカラ、其ノ
點ニ對シマシテモ、考慮スルニアラズシテ、
寧ロ進シデヤラナケレバナラヌコトデアリ
マス、其ノ點ニ對シマシテモ、ヤハリ諸君
ノ御支援ト御協力ヲ願ハナケレバナラヌ、
斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス、之ヲ以テ御
答ト致シマス

○田中委員 大臣ノ御答辯ヲ得マシタガ、
満足スルカシナイカ分ラヌヤウナ御答辯デ、

昭和十五年三月十一日 四五

第六類第十號 金華山軌道株式會社及朝倉軌道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案委員會議錄 第六回

甚ダ私不滿ニ感ズルノデアリマスガ、大臣ノ御答辯ヲ綜合致シマスルト非常ニ困難ナ問題ダ、チヨツクラ行クモノデヤナイト云フ御話デゴザイマス、ソレハ其ノ通りデスガ、今私が申述べマシタヤウニ、交通機關ニ是ダケノ不備缺陷ガアルト云フコトヲ御認メニナル以上ハ、茲ニ一大決心ヲセラレマシテ、何トカシテ之ヲ綜合統制スルヤウナ國家機關ヲ置カレト云フコトガ最も急務デアラウト思ハレル、大臣ノ御話デハ恆久性ノ對策ト應急ノ對策ガアル、斯ウ云フ御話デゴザイマシタガ、應急對策モ中々出來マセス、是ハ餘程政治的ノ決心ガナイト私ハ出來ナイモノト思フノデゴザイマス、貿易省ヲ設ケル場合ニ於キマシテモアレダケノ大キナ問題ヲ起シタト云フノニ、今度モ此ノ交通省ハ三四省ガ合併シナケレバ出來ナイ仕事デゴザイマスルカラ、是ハ餘程困難ナコトハ分リ切ツテ居ル、併シ困難ダカラト云ツテ抛ツテ置カレタノデハ何時マデ經ツテモ旨ク行キマセス、一年十七億餘リノ運賃ハ上ルバカリデアル、下ルヤウナコトハ少シモナイ、私ハ恆久對策ニ付テノ意見ヲ持ツテ居リマスケレドモ、是ハ申シマセス、大臣ノ今仰シヤイマシタ應急對策、是モ各省ノ役人ガ割據致シテ居リマスルカラ、中々出來ニクイコトデアリマスルガ、恆久對策のノコトハ出來ナイニシテモ、セメテ應急の處置ヲ御執リニナルコトガ最も必要デアルト思ハレル、然ラバドウ云フヤウナコトヲスレバ宜イカト申シマスルト、吾々ノ考ヘテ居リマス所ハ、今大臣モ御述ニナリマシタヤウニ、最も必要ナ事柄ニ付テ指導統制ヲスレバ宜イノデアリマスカラ、内閣カ何處カニ交通會議デモ設ケラ

レテ、サウシテ交通機關ヲ所管シテ居ル所ノ各省大臣ヲ指導シテ行ク、若クハ御話ニアリマシタヤウニ協調シテ行クト云フヤウナ御考ガナクンバ應急對策モ私ハ出來ナイト思ヒマス、此ノ點ニ關シマシテ此ノ應急對策トシテノ交通會議設置ト云フコトヲオヤリニナル御決心ガアルカドウカト云フ點ヲ、モウ一回御伺致シマス

○松野國務大臣 交通會議ヲ置クカ置カナイカ、之ニ對スル意見ハ如何、斯ウ云フコトデアリマスガ、此ノ事ハマダ具體的ニ交通會議ヲ置イテドウシヨウ、斯ウ云フコトハ今日マダ考ヘテ居リマセヌガ、田中君ノ指摘セラルル點ニ對シマシテハ非常ナ決心デナケレバイカナイ、又同時ニ非常ナ決心ノ下ニヤルベキダト云フコトハ私固ク考ヘテ居ル次第デアリマスカラ、ソレニ對シテノ方法ハ今後十分ニ考ヘテ見タイト思ヒマス

○田中委員 諒承致シマシタ、私が交通行政ノ統制ノ爲ニ交通省ヲ設ケテ貰ヒタト云フコトヲ申上ゲル所以ハ、交通ノ事業ニ關シマシテ非常ニ理解持ツテ居ラレル大臣ヲ得タノデゴザイマスルカラ、私ハ此ノ機會ニ於テヤラナケレバ他日ナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、交通會議設置ニ關シテハ考ヘテ居ナイト仰シヤイマスケレドモ、大臣一人デオヤリニナルト思ヘバ出來得ル、サウシテ最も交通事業ニ經驗ヲ持ツテ居ラレル現大臣ガサウ云フ事ヲ發案スルコトニ依ツテ、總テノ人が首肯シテ行クコトデアラウト思フ、世ノ中ノ人が總テ躍イテ行クデアラウ、左様ニ考ヘマス、此ノ機會ヲ逸セズシテドウカ善處セラレンコトヲ切ニ御願シマシテ私ハ次ノ質問ニ移リタイト思ヒ

マス

次ハ交通事業ノ調整問題デゴザイマス、鐵道省ガ交通事業ノ調整ニ關シテ法律案ヲ出サレル前カラ、私自身ガ調整法ヲ議會ニ出シマシテ、調整ノ必要ヲ強調シタ一人デゴザイマス、所ガ吾々ノ案ハ引込メマシテ、政府提出案トナツテ現在ノ交通事業調整法ガ出來テ居ルノデゴザイマスガ、其ノ後ニ於ケル調整ノ實際ヲ拜見致シマスルト、何モ出來テ居ナイ、此ノ法案ヲ出シテ亂立シテ居ル交通機關ヲ統制スルノデアル、サウシテ運賃ヲ安クシ、交通ノ連絡ヲ圖ルノデアル、ダカラ此ノ法律ハ早く制定シナケレバナラヌト云フ鐵道省ノ立法當初ニ於ケル御趣旨ハ全然裏切ラレテ居ルヤウナ狀況ヲ見テ居ルノハ、頗ル私遺憾ニ感ズルノデゴザイマス、勿論調査委員會ヲ設置セラレマシテ、色々ノ議論ヲサレテ居ル、初メノ時ハ委員ガ新米デ、鐵道省ノ役人ノ方々カラ委員ガ交通調整トハ如何ナルモノデアルカト云フコトヲ教ヘラレテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマシタガ、其ノ教育期間六箇月、其ノ六箇月デ習ツタ知識ニ依ツテ事業ガ審議セラレタカト云フト何モセラレテ居ナイ、是ハ私頗ル遺憾ニ思フノデゴザイマス、元々吾々ガ調整ノ必要ヲ感ジマシタノハ、田舎ノ交通機關ニ對シテ彼此レ言フノデヤナクシテ、東京市ト其ノ附近ニ於ケル交通事業ノ調整ヲスルコトガ、最も急務デアルト云フ所カラ致シマシテ、本法案ノ成立ヲ見ルニ至ツタモノト私ハ確信シテ居ルノデゴザイマスガ、何モ進行シナイ、承ル所ニ依リマス、先ヅ以テ調査會ニ於テハ東京市及比其ノ附近ニ於ケル交通事業ノ調整案ヲ御出シニナツタ、サウシテ幹事案ト致シ

マシテ、官公私ノ三者ガ合同シタ會社ヲ設ケテ、東京附近ノ交通機關ヲ調整シヨウデハナイカト云フ案ヲ御出シニナツテ審議セラレタト云フコトヲ承ツテ居リマス、然ルニ東京市ハ卒然トシテ其ノ案ニ反對シマシテ、市有市營デナケレバナラス、ソレニ付テハ此ノ交通審議會ガヤツテ居ル所ノ幹事案ナルモノヲ打破ラナケレバナラヌト云フ猛烈ナル運動ヲ致シマシタノハ、是ハ皆様ノ御承知ノ通りデアル、是ハドウ云フ見地カラ東京市ハ市有市營ヲ強調スルカト申シマス、交通機關ハ市民ノ足デアル、其ノ足ヲ一私設會社ニ取ラレテシマツテハ足ハドウスルコトモ出來ナイ、市民生活ヲ安定セシムル所以デヤナイ、ソレダカライカナイ、又東京市ガ電車ヲ經營シマシテカラ三十年モ經ツテ居ル、此ノ二十年間ニ多數ノ經驗ヲ得テ居ルノデアルカラ、其ノ經驗ヲ有スル東京市ニ許サルベキモノデアツテ、新設ノ官公私三者ノ私設會社ニ許スベキモノデヤナイ、斯ウ云フコトヲ理由トシテ居ル、又交通事業調整法ノ審議ニ當ツテ、衆議院ハ市有市營ヲ強調シテ居ルカラ、其ノ主義カラ言ツテモ東京市ガ之ヲ經營シナケレバナラスノデアル、此ノ三ツガ東京市ガ本案ニ對スル反對理由デアリマス、斯様ナ簡單ナル反對理由ニ依ツテ、折角政府ガ立案調査セラレマシタ所ノ官公私合同ノ株式會社案ヲ葬リ去ラレテ、其ノ後ハ何等ノ手が著イテ居ラナイ、ソレデアルカラ交通審議會ハ、會ハアツテモドウモ用事ガナイ、用事ガナイカラ地方ノ交通機關ヲ一ツ統制シヤウデヤナイカト云フヤウナ所マデ行ツタ聞イテ居リマスガ、是ハ大キナル誤リデアルト思ハレル、成程東京市ガ申シマスヤウニ、市内ノ附近ニ

於テル所ノ交通機關ハ市民ノ足デアルニ違ヒナイ、併シテガラ其ノ足ヲ何モ東京市が經營シナケレバナラヌ理由ハナイ、東京市民ノ利益ニナルヤウニ、官公私合同會社案ニ依ツテ、十分目的ヲ達シ得ル、又軌道ヲ敷設シテカラ三十年ノ經驗ヲ持ツテ居ルト東京市ハ申シマスケレドモ、吾々ヲシテ言ハシメレバ三十年間一體何ヲシテ居ッタノカ、東京市ノ軌道ナルモノハ改善セラレテ居ナイデハナイカト云フヤウナコトヲ言ヒタクナルヤウナ有様ナノデアリマス、私ハ市當局ガ左様ナコトヲ申シタト云フコトニ依ツテ、折角大臣ガ御出シニナツタ所ノ案ヲ撤回セラレ、或ハ審議ヲ中止セラレルト云フヤウナコトハ、洵ニ私ハ遺憾ニ思フノデアリマスガ、今後ニ於キマシテ、此ノ問題ヲドウ云フヤウニ御取扱ニナルノデアラウカドウカト云フコトニ付テ、御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、固ヨリ市ノ申シマスヤウニ、市有市營ハ或ハ理想カモ分リマセヌ、分リマセヌガ其ノ理想ヲ誰ニ實現セシメルカ、其ノ理想ヲ實現スル方法トシテ、人其ノモノガ良クナクテハナラヌ、東京市ハ其ノ資格ヲ持ツテ居ルカト申シマス、私ハ悲シイ哉持ツテ居タイト思フ、若シ多年ノ經驗ヲ持ツテ居ルノナラバ、十數年前ニ東京市ニ免許セラレマシタ地下鐵道ハ、既ニ出來テ居ラナケレバナラヌ筈デアリマス、所ガヤツテ居ナイ、ヤツテ居ナイト云フノハ東京市ニ其ノ資格ガ無い、適格デナイト云フコトヲ言ハネバナラスト思フノデアリマスガ、此ノ東京市ノ交通機關ノ調整ニ關シマシテハ、一先ツ頼被リヲセラレテ御居デニナル積リカ、ソレトモ更ニ進ンデ近ク東京市ノ反對ヲ押切ツテモ構ハヌ、政

府ノ思ハレル案ヲ實行ナサル御積リデアルカ、其ノ點ニ關スル御所見ヲ御伺シテ置キタイノデアリマス

○松野國務大臣 交通調整ニ關シマシテ、又殊ニ東京市ヲ中心トシタル問題ニ對シマシテ御意見ヲ拜聽シマシタガ、此ノ陸上交通事業調整法ニ御協賛ヲ願ツタノハ、ドウシテモ其ノ必要極メテ大デアル、斯ウ云フ趣意ニ於キマシテ交通調整法ヲ拵ヘタノデアリマスカラ、田中君ノ言ハレル通り、最モ急ヲ要スル東京市ヲ中心トシタル區間、之ニ對シマシテ調査會ヲ設置シマシテ、サウシテ特別委員會ヲ設ケ、更ニ小委員會ヲ設ケテ、現在其ノ案ヲ審議中デアリマス、色々案ノ内容ニ付テハ御議論モアルト思ヒマスガ、何レニ致シマシテモ交通調整委員會ノ成案ヲ得マシタナラバ、政府ト致シマシテハソレヲ參考トシマシテ、サウシテ最善ナリト信ズル案ヲ改メテ御協賛ヲ受クベク提出致ス覺悟デアリマス

（山田委員長代理退席、委員長著席）而シテ今議會ニ間ニ合フカドウカ、斯ウ云フコトヲ考ヘマスト遺憾ナガラ今期議會ニハ提案スル運ビニ至ラナイト考ヘテ居リマス、然ラバ案其ノモノニ付テ意見ガ一致シナイ、其ノ爲ニ、其ノ必要ハ認メルガ、法案ノ提案ヲ躊躇スルノカ、斯ウ云フ御意見ニ對シマシテハ、ソレハ斷ジテ躊躇致シマセヌ、ソレ等ノモノニ對シマシテハ、各最善ナリト信ズル所ニ於テ意見ノ相違ガ出テ參リマスノデ、委員會ニ於キマシテモマダ成案ガ纏ツテ居リマセヌガ、委員會ノ成案ヲ得マシタナラバ、政府ト致シマシテハソレヲ參考ニ致シマシテ、サウシテ一ツノ成案ヲ拵ヘマス、ソレデ總テノモノニ對シマシ

テ、初メカラ必ズシモ意見ガ一致スベキモノデナイ、殊ニ重大ナル問題ニ對シマシテハ、各信ズル所ニ於キマシテ議論ハ幾ツニモ分レルト思フ、殊ニ此ノ問題ニ對シマシテハ、相當意見ノ相違ガ最後ノ案ヲ決メルマデニハアルコトモ覺悟シナケレバナラヌト思ヒマスケレドモ、サウ云フ各種ノ意見ノアル所ニ依ツテ、最後ニ決メタ案ガ私ハ最善ダト思ヒマス、案其ノモノノ將來ニ考ヘマシテ、意見ノアルガ如キ問題ハ成ルベク避ケタガ宜イ、斯ウ云フ考ハ斷ジテ持ツベキデハナイ、又サウ云フ問題ハ寧ロ議論ノアル儘ニ一日モ早く、成案ヲ得タナラバ寧ロ輿論ニ曝シタ方ガ宜イ、サウシテ自ラ最善ヲ盡シテ成案ヲ得ル、是ガ立憲政治ダト考ヘテ居リマス、ソレデアルカラ問題ノ出ルコトヲ避ケルトカ何トカト云フヤウナコトハ、是ハ斷ジテスベキモノニアラズ、サウシテ必要ニ對シマシテハ所信ニ向ツテ邁進スル、輿論ニ聽クベキモノハ十分ニ聽ク、斯ウ云フモノハ躊躇セズニ一ツノ成案ヲ得タナラバヤハリ是ハ輿論ニ曝スベキモノデアラ、サウ云フ考ノ下ニ成案ヲ得マシタナラバ躊躇スルドコロデハナイ、寧ロ進ンデ輿論ニ懇ヘテ、サウシテ其ノ案ノ必要性ニ鑑ミマシテ、相當ナル機會ニ於キマシテ諸君ノ御協力ヲ願ヒタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○田中委員 東京市ノ反對トカニ少シモ顧慮セズ、所信ニ向ツテ斷行スルト云フ御言明ヲ得マシテ、洵ニ意ヲ強クスルノデアリマス、併シ中々東京市ハ強イデス、強クシテ色々ナ策動ヲシテ居ルコトハ、大臣モ御承知デアラウト思ヒマスガ、之ヲ斷行シテ戴クコトニ付テ私共ハ非常ニ現大臣ヲ信頼スルノデアリマス、昨今ノ新聞ニ依リマス

ト、東京地下鐵ノ爭奪戰ガ行ハレテ居ル、金融資本家ト事業家トガ互ニ相爭ウテ此ノ地下鐵ノ奪合ヲシヨウトシテ居ルト云フコトヲ承ツテ居リマスガ、是等モ畢竟スルニ、何ニ原因スルカト申シマス、政府ノ御ヤリニナル所ノ交通調整事業ガ遅レテ居ル、デアリマスカラソコニ民間ノ手ニ依ツテ調整シヨウデハナイカト云フヤウナ意見モ出テ來ル、左様ナ結果カラシテ、斯様ナ醜イ所ノ爭ヒガ帝都ノ眞中ニ於テ起ルノダト思フノデアリマスガ、斯様ナコトニ對シテハ、ヤハリ交通調整ノ大綱ガ決ルマデハ放ツテ置クノダ、ソレ等ノ手ニ委ネテ政府ハ見テ居ルノダト云フ御意見デアルカ、ソレトモ政府ガ監督權ヲ以テ是等ノ爭ヒヲ撲滅サセルト云フヤウナ御意見デアルカ、尙ホ其ノ點ニ付テ御伺致シマス

○鈴木政府委員 只今田中サンノ申サレタ所謂自治ノ調整ヲ行ヒツツアルモノハ、東京ニ關スル政府ノ案ガ定マルマデハ中止セシメテ置クノカ、或ハ其ノ儘進ムニ委セテ置クノカト云フ御尋ト思ヒマスガ、調整法制定ノ當時カラ申上ゲテ居リマスヤウニ、自治ノ調整ハ望マシイコトデアアルノデアリマスガ、東京ニ關スル政府案作成ニ至ルマデニモ、過渡的ニ自治ノ調整ガ進ンデ參リマスコトヲ止メル必要ハ毫モナイト思ヒマス、唯其ノ進ンデ行キマスコトガ政府ノ考ヘテ居リマス方向ニ反シ、或ハ東京ノ交通調整ニ支障アリト認メマス場合ニ於テハ、ソレハソレヲ許可シナイニ止マルノデアリマス、自治ノ調整ガ進ンデ行ケバ行ケ程政府案作成ニ向ツテ都合ガ好イカト考ヘテ居リマス

○田中委員 私ハ大臣ニ質問スルノハ此ノ位デ宜イノデスガ、實ハ税制ノ方ガ畫マデ質問ヲ打切ルノダサウデス、ソレデ局長ニ對スル質問、企畫院ニ對スル質問ガマダ殘ツテ居ルノデアリマスガ、小平君ガ大臣ニ對シテ質問ガアルサウデスカラ、私ノ質問ハ後日ニ留保サシテ戴キタイト思ヒマス

○小平委員 私ハ引續イテ鐵道大臣ガオ居デデアリマスカラ一點ダケ御伺致シタイト思ヒマス、是ハ今度ノ改正法トハ關係ガナイデアリマスガ、關聯事項トシテ御伺致シマス、實ハ國立公園地帯ノ交通ノ問題デアリマス、日光國立公園ハ數年以前ニ國立公園ニ指定サレマシテ、其ノ後ノ狀況ヲ見マス、其ノ交通機關ハ日本ノ國立公園ノ體面上甚ダ不満足デアルト考ヘマス

〔委員長退席、山田委員長代理著席〕

是ガ國立公園ニ指定サレテカラ交通上ノ改善ト云フモノハ殆ド何モサレナイノデアリマス、申スマデモナク汽車ハ宇都宮マデハ複線ニナツテ居リマスガ、アレカラハ單線デアル、而モ東京市カラ極メテ近距離デアリマスガ、一日ニ十回内外シカ往復シナイト云フ現狀デアリマス、半面ニ觀光者ハ非常ニ多クナリマシテ國立公園設置當時カラ見マスルト、今日ハ十數倍ノ客ガ來テ居ル、殊ニ外人ノ往復ハ非常ニ頻繁ニナツテ居ルト云フ狀況デアアルコトハ私ノ申上ゲルマデモナイ所デアリマス、サウ云フ方面カラ考ヘマス、國家ノ體面ノ上カラ言ツテモ日光ノ國立公園ト云フモノハ世界ニ冠タルモノデアリマスカラ、モウ少シ交通機關ノコトニ付テ御心配願ヒタイト考ヘテ居リマス、殊ニ今回ハ厚生省ト縣トノ合作ニ依リマシテ、裏日光ニハ龐大ナル國民ノ健康場トデ

モ申シマスカ、大キナ施設ガ出來ルコトニナツテ居リマス、サウ云フ施設ガ出來マシテモ、現在ノ交通機關デハ到底其ノ施設ノ目的ヲ達成スルコトハ出來得ナイ、殊ニ日光地内ノ交通機關ヲ見マス、此ノ間モ事故ヲ起シテ數十人ノ死傷者ヲ出シタコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、アノ軌道ヲ見マス、昔ノ鐵道馬車時代ノヤウナ舊式ナ電車ヲ走ラセテ居ルノデアリマスガ、國立公園内ノ交通機關ノ改善ト云フ方カラ見マシタナラバ、當然アレハ國家ガ買収致シマシテ國立公園ニ相應シイ所ノ交通機關ヲ造ルコトガ當然デアルト私共考ヘテ居リマス、ソレカラ日光地内ノ道路デアリマスガ、是ハ鐵道トハ直接關係ハナイト思ヒマスガ、内務省方面ト大イニ交渉願ヒマシテ、此ノ道路ノ改修、之ニ伴ヒマシテ軌道ノ買収ヲシテ國立公園ニ相應シイ國營ノ交通機關ニシテ戴キタイト考ヘテ居リマス、今ノ狀態カラ申シマス、宇都宮マデハ複線ニナツテ居リマスガ、宇都宮、日光間モ尙ホ複線ニシテ戴キタイ、吾々ハソレダケデハマダ満足シナイノデアリマシテ、少クモ東京日光間ハ至急ニ電車ヲ敷設シテ貫ヒタイト考ヘテ居ルノデアリマス、鐵道省ハ東京ニ近イ所ノ國立公園ニ對スル交通機關ヲ甚ダ無視サレテ居ルヤウニ考ヘマスガ、サウ云フ點ニ付テ鐵道大臣ハドウ云フ御考ヲ持ツテ居リマスカ、此ノ際一ツ御所見ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス

○松野國務大臣 小平君ノ御質問ニ御答致シマス、今ノ日光地内ノ電車ヲ買収シテ改善スルコトハ、觀光地トシテ極メテ適切ナ施設デハナイカト云フ御意見デアリマスカ、實際問題トシテ具體的ニ御示ニナツタモノヲ鐵道省ガ買収スルヤ否ヤト云フコトハ今日考ヘラレマセヌケレドモ、大體ニ小平君ノ御意見ニ對シマシテハ私モ全然同感デアリマス、同感ト申スコトハ、鐵道省トシテモ觀光局ヲ持チマシテ外客誘致ト云フコトハ考ヘナケレバナラヌ問題デアリマス、殊ニ日本ニ來レバ日光ト云フノガマア當然、是ハ第一ノ地點デアリマスカラ、其ノ外客誘致ヲセナケレバナラヌ鐵道省ト致シマシテハ、此ノ第一ニ考ヘル日光ニ對シマシテ交通機關ノ完備ト云フコトハ極メテ當然ノコトデアリマス、ソレデ其ノ趣意カラ申シマシテ、現在ハ國立公園ヲ厚生省ガ管理シテ居ルト申シマシテモ、オ互ニ相協力シテ、厚生省デハ健康保健ノ問題ヲ主トシテ國立公園ヲ造ルト斯ウ申シマスガ、鐵道省トシマシテハ、ヤハリサウ云フ健康保健ノ問題ヲ主トシマスルヤウナ風光明媚ナ地點ノ如キハ、ヤハリ交通機關ヲ完備サセマシテ、是ト兩々相俟ツテ初メテ國立公園ノ意義ヲ現ハスコトモ出來ル、斯ウ云フコトデオ互ニ國家機關デアリマスカラ、其ノ點ニ付キマシテハ緊密ナ連絡ノ下ニ十分ナ協力ヲシテ、サウシテ申サレマシタヤウニ日光國立公園ノヤウニ、第一ニ示サナケレバナラヌ地點ノ如キニ對シマシテハ、交通上ノ安全ト道路ノ利便トニ對シマシテ各種ノ施設ヲスルコトニ對シ各省間ノ連絡ヲ執リマシテ十分ニ鐵道トシテハ考慮スベキモノダト云フ考ヲ持ツテ居リマス

○小平委員 只今モ申上ゲマシタガ、私共日頃カラ考ヘテ居ルノデアリマスガ、只今鐵道大臣ノ仰シヤルヤウニ外客誘致ト云フ方面カラ考ヘマス、國立公園ニ付テハ何デモ彼デモ交通機關ハ完備シテ戴カナケレバナラヌ、殊ニ日光ニ來タ客ノ心理狀態ヲ聞キマス、外國カラ來タ客ガ大變驚クサウデアリマス、ソレハ殆ド世界ノ日光ト云ハレルヤウナ日光ノ國立公園ヘ外人ガ來マシテ旅館ニ泊ツテ何ヲ一番先キニ言フカト云フト、ドウシテ日本デハ日光ノヤウナ世界ニ冠タル國立公園ガ斯ウ東京カラ來ルノ不便ダラウト云フコトヲ言フサウデアリマス、普通列車デ參リマス、三時間半モ掛ル程不便デアリマス、而モ宇都宮マデハ複線デアリマスガ、アレカラ向フハ單線デ、トコノト非常ニ速力ガ遅イ汽車ヲ走ラセテ居ルヤウナ現狀デアリマス、季節列車ト云フモノハ季節ニハ出ルヤウデアリマスガ、ソレモ僅カノ期間デアリマシテ、殆ド困ツテ居ル、サウ云フ狀況デアリマシテ、先ヅ外人ノ話ヲ聽キマス、日光ニハ東京ニ來テ第一ニ行ツテ見タイノダガ、時間ヲ聞クトウンザリスル、段々内容ヲ聞クトウ汽車モ非常ニ惡イト云フコトデ、先ヅ日光行ハ止メヨウト云フヤウナ外人ガ隨分アルサウデアリマス、全ク旅館ニ來テ外人ノ話ヲ聞クト一番交通機關ヲ非難シテ居ル、申スマデモナク、日光ハ世界ニ冠タル日光デアリマスカラ、交通機關ニ付テハ政府モ非常ナ力ヲ入レテヤツテ居ルダラウト思ツテ來タ所ガ、ドウモヒドイ所デ停車場ニ降リマシテ電車ニ乗ラウト云フヤウナ場合ハ、鐵道省ノ方デモ御承知デセウガ、アノ電車ハ私ハ先ヅ日本中デモアレ位ヒドイ電車ハ珍シイデヤナイカト思フ、私ノ調査ニ依リマス、二十年トカ二十五年前ノ電車デアリマス、昔ノ鐵道馬車式ノ電車ヲ今デモ走ラシテ居ル、アア云フ狀態ヲ見マス、全ク外人誘致ト云フコト

ヲ鐵道省モ大イニヤツテハ居リマスケレドモ、外人ガ來テ見ルト非常ニ魂消ルト云フコトヲ考ヘマス、全ク日本トシテハ國家ノ體面カラ言ツテモ、此ノ問題ハ打棄テテ置クベキ問題デハナイト私ハ考ヘマス、只今ノ大臣ノ御答辯デ其ノ御氣持ハ分リマスカラ、一刻モ早く電車ノ設備ヲスルコトガ必要デアル、東京日光間ノ鐵道ヲ電化シテ之ヲ以チマシテ、少クトモ一時間半位デ行ケルト云フヤウナ、電車ノ設備ヲ私ハ要望シテ居ルノデアリマス、サウ云フ點ニ付キマシテ、大臣ノ御考ヲ尙ホ一ツ伺ヒタイ

○松野國務大臣 能ク考慮致シマシテ、最善ヲ盡シマス

○小平委員 ドウカ委員會ニ於ケル御言葉バカリデナク、積極的ニ一ツ松野大臣御在任中ニ實現サレ、日光・東京間ノ交通機關ハ松野大臣ニ依ツテ改善サレタト云フヤウナコトヲ是非御示ヲ願フヤウニ、私ハ此ノ機會ニ御願ヲ致シテ置キマス、大臣ニ對スル質問ハソレデ終リマシテ、次ニ監督局長ニ質問致シマス、實ハ此ノ間モ御質問申上ゲタノデアリマスガ、第十六條ノ二十八、補助金ノ問題デアリマス、此ノ問題ヲ實際ニ檢討致シマスルト、私共一寸腑ニ落チナイ點ガアリマスカラ、此ノ點改メテ御質問申上ゲタイト思フノデアリマス、先ヅ假ニ例ヲ引イテ申上ゲマス、組合ノ自動車ガ四千五百圓ノ自動車ガアルト云ツタ場合ニ、四箇年間ニ三分ノ一ノ償却率ニ對スル補助ヲ與ヘルト云フ御話デアリマシタガ、殘存物件ヲ五百圓ト見マス、四千五百圓カラ五百圓ヲ引キマスカラ、四千圓デアリマス、サウスルト四箇年デスカラ、一箇年ノ償却率ハ千圓ト云フコトニナル、其ノ三分ノ一デスカラ一箇年間ニ三百三十三圓、サウ承知シテ宜シイカドウカト云フコトヲ御伺致シタイ

○鈴木政府委員 自動車費ヲ四千五百圓ト御計算下サレバソレデ結構デアリマス、自動車購入費ヲ四千五百圓トスレバ、殘存物件五百圓ヲ除イテ、四千圓デアリマス、其ノ四千圓ノ四分ノ一ダカラ千圓、其ノ千圓ノ三分ノ一以內ト斯ウ云フ意味デアリマス、私ノ申上ゲタノハ購買價格ヲ五千圓ト見タカラ、殘存物件ヲ五百圓トシテ四千五百圓、四千五百圓ノ四分ノ一ダカラ千五百圓、其ノ三分ノ一ダカラ三百六十何圓デスカ、サウ云フコトニナルノデアリマス

○鈴木政府委員 二十八ノ組合ノ補助ハ組合ノ事務ノ補助デス、ソレカラ事業者ガ持つテ居リマスル車輛ノ補助ハ十六條ノ七デス、ソレデアリマスカラ十六條ノ七ニ依ツテ事業者ガ持つテ居ル車輛ノ補助ガアル、組合ハ事業者デヤナイカラ組合ガ持つテ居ル車輛ノ補助シナイ、併シナガラ組合ハ統制事務ヲヤツテ居リマスカラ、其ノ統制事務ノ事務費ノ半額ヲ十六條ノ二十八ニ依ツテ補助スル斯ウ云フコトデス

○鈴木政府委員 只今申上ゲマシタ如ク、組合ノ補助ハ十六條ノ二十八デス、ソレカラ片方ノハ第十六條ノ七デス、二ツアリマスカラ——十六條ノ七ハ即チ事業者ノ補助デス、車輛ノ償却代ヲ見テノ補助デ、先程御説明申上ゲタ三百六十何圓、十六條ノ二十八ノ組合ノ補助ハ組合ノ事務費ニ對スル補助デゴザイマス、組合ノ持つテ居ル車輛ニハヤリマセス、組合ノ補助デスカラ、——事業者デハナイノデスカラ——組合ノ事務費、統制事務ニ對スル補助デス、二千五百圓ノ半分以內デスカラ千三百圓位ヲ補助スル積リデ居リマス

○鈴木政府委員 能ク分リマシタ、組合ニハ事務費ヲ補助スル、組合員ノ持つテ居ル車輛ニ對シテハ十六條ノ七ニ依ツテ補助ヲ與ヘ、斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ——分リマシタ、ソレデハ尙ホ續イテ御質問申上ゲタイノデスガ、商工省ノ方ハ來テ居ラレマスカ

○山田委員長代理 誰モ來テ居リマセス

○小平委員 「デーゼル・エンジン」ノコトニ付テ聽キタイノデスガ……

（山田委員長代理退席、委員長著席）

ソレデハ鐵道省ノ方カラ商工省ノ方ヘ御傳ヘ下サツテ書類ニデモシテ御回答ヲ願ヒタイ、私ハ此ノ日本ノ燃料問題ト云フコトニ付テハ、此ノ間モ商工省ノ方ニ來テ戴キマシテ色々質問致シマシタガ、ドウモ困ツタ問題デアツテ、「ガソリン」等ニ對シハモウ少クナルトモ多クナルヤウナコトハナイト云フ風ニナツテ居ルノデアリマス、併シ此ノ日本ニ於テハ聖戰目的達成ノ爲ニハ燃料ノ問題ヲ解決シナケレバナラスト云フコト

ハ私が申上ゲルマデモナイ、此ノ燃料問題ヲ解決スルノニ代用燃料ト云フコトガ問題ニナツテ、政府デハ今木炭瓦斯其ノ他色々ナ瓦斯問題ニ付テ研究シテ居ラレマスガ、私ハ其ノ問題ヨリモ、モット一番ニ政府ガ考ヘナケレバナラスト問題ハ「デーゼル・エンジン」ノ問題デアルト思フ、自動車等ニ對シテ「デーゼル・エンジン」ヲ使用スルコトヲ一番先ニ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、既ニ亞米利加等ニ於テハ數年前カラ實際ニ「デーゼル・エンジン」ヲ使用シテ居リマス、「バス」ニ於テモ「トラック」ニ於テモ盛ニ現在使用シテ居リマス、又日本ニ於テモ輸入ノ出來タ一昨年當リハ多少「デーゼル・エンジン」ヲ輸入シテ現在近縣ニ於テモ四五臺ノ「デーゼル・エンジン」ノ「トラック」ガ動イテ居リマス、サウ云フ風デ之ヲ使ツタ結果ノ成績ヲ私ハ調べテ持つテ居リマスガ、其ノ成績ハ非常ニ宜シイ、燃料消費ニ於テハ「ガソリン・エンジン」ニ比較シテ、殆ド半額ノ操作等モ非常ニ樂デアル、故障モ少イ、力モアルノデ輸送用トシテハ「ガソリン・エンジン」ヨリモ寧ロ段々「デーゼル・エンジン」ニ代ルト云フ情勢ニナルダラウト考ヘテ居リマス、是ハ歐羅巴ノ諸國ニ於テ皆サウ云フ風ナ情勢ニナツテ居リマスカラ、日本モ當然サウナツテ來ルト思フ、殊ニ日本ノヤウナ「ガソリン」ノ少イ國ニ於テハ、今液體燃料ヲ造ラウトシテ盛ニ研究シテ居リマスガ、是等ニ合致スル爲ニハ「デーゼル・エンジン」ヲ使フコトガ一番宜シイト私ハ考ヘテ居リマスガ、ドウモ政府ハ之ニ對シテ非常ニ無關心ノヤウナ狀態デアルコトハ甚ダ遺憾デアリマス、御承知ノ通り「デー

ゼル・エンジン」ハ重油ヲ以テ運轉ガ出來ルノデアリマシテ、石炭液化ニ依ツテ「ガソリン」ヲ採ルヨリ餘程樂デアリマス、サウ云フ方面カラ考ヘマシテモ「デーゼル・エンジン」ヲ使ハセルト云フコトハ、喫緊ノ急務デアルト私ハ考ヘテ居リマス、之ニ對シテ商工省ハドウ云フ御考ヲ持ツテ居リマスカ、此ノ點ヲ私ハ聽イテ見タイト思フ、私ハ實際之ヲ使用シテ居ルモノニ付實地調査ヲシテ居リマスガ、今マデ「ガソリン・エンジン」ハ自動車ヲ使ツテ居タ連中ガ「デーゼル・エンジン」ヲ使ヒマス、馬鹿々々シクテ「ガソリン・エンジン」ハ使ヘナイト言フ、外國ノ物ハ非常ニ優秀ニ出來テ居リマシテ、サウ云フ結果ニナツテ居リマス、日本ノ現在マデ使用サレテ居ル日立邊リデ出來テ居ルモノハドウモ評判ガ惡イノデアリマス、是ハ使ツタ經驗ヲ聞イテ居ルノデアリマス、「デーゼル・エンジン」ニ對シテハ二段ノ研究ヲ要スルト思フノデアリマスカ、政府ハ之ニ對スル更ニ積極的ナ方針ヲ執ラナイノデアリマスガ、ドウ云フ譯デ此ノ最モ燃料ニ對シテハ關係ノ深イ所ノ「デーゼル・エンジン」ヲ構ハナイノカ、將來ドウ云フ方針ヲ執ル積リデアルカト云フコトヲ御聽キ致シタイト思ヒマス

ソレカラ尙ホ是ハ大藏省關係ノ問題デスガ、是モヤハリ大藏大臣モ來マスマイカラ、鐵道ノ方カラ御聽ヲ願ツテ、書類デモ宜シウゴザイマスカラ、御返事ヲ願ヒタイト思ヒマス、省營「バス」ノ補助金問題デアリマスカ、之ニ對スル課税、是ガドウモ甚ダ私共不當ダト考ヘテ居リマスノデ、是ハ鐵道ノ方デモ御考ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、何シロ財産ヲ賣ツテシマツタヤウナ者ニ對

シテ利益ト見テ之ニ課税スルト云フノデアリマスガ、課税ノ根本方針ガ私ハ甚ダ間違ツテ居ルト考ヘテ居ル、併シ大藏省ニ言ハセルト大藏省ハ鐵道ノ補償ノ方モサウ云フコトニナツテ居ルノデ省營「バス」ニ對シテノミ之ヲドウスルト云フコトモ出來ナイト云フヤウナコトヲ前議會ニ於テモ答辯シテ居リマス、現在ノ情勢ニ於テドウナルカト申シマス、假ニ十萬圓ノ省營「バス」ノ補助ヲシテ貰ヒマス、七萬圓ハ税金ヲ取ラレテシマヒマス、タツタ三萬圓ガ自動車ノ營業者ニ入ルダケデ、七割ハ税金ヲ取ラレテシマフ、普通ノ會社デ、假ニ一割ノ利益配當ノ考課狀ヲ出シテ居ル會社ガ、其處ニ持ツテ來テ十萬圓ノ金ヲ貰フト、殆ド十萬圓ノ七割ハ税金ヲ取ラレテシマヒマス、ソレハ餘リニ酷イト思フ、此ノ問題ハ前議會ニ於キマシテモ私ハ質問ヲ致シタノデスガ、只今申上ゲルヤウナ大藏當局ノ答辯デアリマス、其ノ後聞ク所ニ依リマス、關西方面ニ於テ之ヲ分割拂トシテ課税シタト云フ例ヲ私ハ聞イテ居ル、サウ云フコトガ一地方ニ於テハ出來ナイ、一地方ノ稅務署ダケ之ヲ實行スルト云フヤウナコトガアリマシテハ、甚ダ不都合千萬ダト考ヘテ居リマスガ、其ノ點ヲ一ツ御取調ヲ願ヒマシテ、若シサウ云フコトガ出來ルナラバ、七箇年ノ利益ニ對スル補助デアリマスカラ、是非七箇年ニ分割拂ヲシテ宜シイヤウニ御認メヲ願ヒタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、實際ノ狀況ヲ見マスルト、鐵道省ハ七箇年ノ利益ヲ下附スルト言ツテ居リマスガ、全ク貰フ者ハ六箇年ト二・五位ニナルヤウデアリマス、「ホフマン」式トカ云フ計算ニ依ツテ、詰リ七箇年分一時ニ拂フノダカラ、是カラ利子ヲ引

クノダト云フノデアリマスガ、ドウモ利息ヲ先ニ取ラレテシマフ計算ハ甚ダ業者カラ言フト面白クナイノデスガ、是モ法律上致シ方ガアリマセスカラ、服從致シマスケレドモ、其ノ上ニ七割ヲ國家ニ納メルト云フコトデハ、ドウモ補助ノ意味ヲ爲サナイト思フ、之ニ對スル大藏當局カラノ言明ヲ戴キマシテ、一ツ御返事ヲ願ヒタイト思ヒマス

尙ホ商工省關係デスガ「ガソリン」ノ配給ノ狀況ガ各府縣ニ依ツテ違フ、是ハ此ノ間伊東君ノ要求シタ參考資料ニ依ツテモ明カデアリマスガ、東京府以下數府縣ノ自動車一臺當リノ「ガソリン」配給量ガ、東京ハ一箇月六十二「ガロン」廣島ハ四十九「ガロン」熊本ハ五十四「ガロン」宮崎ハ五十六「ガロン」ト云フ風ニナツテ居リマス、貨物自動車ニ對シマシテモ、東京ガ百六「ガロン」廣島ガ百十一「ガロン」熊本ハ甚ダ少クテ九十五「ガロン」宮崎ハ百十六「ガロン」ト云フコトニナツテ居リマスガ、私共ノ考デハ、東京ハ一番「ガソリン」ヲ使ハナイデ宜イノデアリマスカ、其處ガ非常ニ多クナツテ居ツテ、道ノ惡イ邊鄙ナ方ガ貨物自動車ノ如キハ「ガソリン」ガ少イト云フノハ、ドウ云フ基礎的考ニ依ツテ、サウ云フ配給ヲシテ居ルノカ、此ノ點モ一ツ商工省ニ聽イテ貰ヒタイト思ヒマス、大體私ノ質問ハ之ヲ以テ終ルコトニ致シマス、

○名川委員長 長野君鐵道大臣ニ御質問ガアルノデスカ

○長野委員 鐵道大臣ト内務大臣ト御一緒デナイト工合ガ惡イノデス

○名川委員長 小泉君、何カ御質問ハアリ

マセスカ

○小泉委員 私ハ一番終リノ日ニ簡單ニ五分間ダケ質問ヲ致シタイト思ヒマス

○名川委員長 一寸待ツテ下サイ、内務大臣ヲモウ一遍呼ンデ見マス、——内務大臣ハ差支ガアルサウデスカラ、本日ハ是デ散會致シマス、次會ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス

午後零時五分散會